

令和6年度 学校経営計画・自己評価等報告書

学校番号	37	学校名	加茂農林高等学校
------	----	-----	----------

学校教育目標 (教育方針)	校訓「至誠勤労・質実剛健」の下、「いのちを育み そして いのちから学ぶ」をスローガンに、夢の実現を目指す生徒一人ひとりの良いところを見つけ、励まし支える教育を推進し、広い視野と高い志をもって地域社会に貢献できる人材を育成する。	
3つの方針 (スクールポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> 思いやりと協働の精神を培い、自らの役割と責任を果たせる生徒 確かな学力とコミュニケーション能力を身に付け、自ら学び、自ら考え行動し、主体的かつ協働的に課題を解決していける生徒 産業人として必要な豊かな人間性を育み、地域社会や産業界に貢献できる生徒
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> 実践的・体験的な学習活動を通して学び、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人としての資質・能力を育成 主体的・対話的で深い学びを実践するプロジェクト学習により、科学的な思考力・判断力・表現力を養い、課題解決能力と実践力を育成 生徒一人ひとりの個性や長所を十分に伸ばす、個に応じた細かな指導の実施
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> 植物や動物を育てること、食や環境など本校の学習内容に興味・関心がある生徒 実験・実習などの実践的・体験的な学習に、意欲的に取り組める生徒 将来、食料供給・環境創造などの各分野について大学等で学習を深めたり、農業や関連産業で地域貢献しようとする生徒
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 第4次岐阜県教育振興基本計画を進めるにあたり、本校の存在意義や期待されている社会的役割、目指すべき学校像を学校内外に対して分かりやすく示すことが求められている。 地域で活躍する産業人の育成の目標のもと、「ふるさと教育」の充実、地域との連携が求められている。 教員の働き方「時間外勤務時間月45時間、年360時間」が注目されているなか、多忙化の解消に向けて業務の精選が求められている。 	
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標
	学校経営	「加茂農林で学べてよかった」と思わせる教科・生徒・進路の各指導を展開。
	学習指導	I C Tの活用と生徒の能力に応じた指導の充実のため公開・研究授業の実施と職員研修による授業の改善活動。
	進路指導	「社会的・職業的な自立に必要な能力や態度」を育てるために、キャリア教育を踏まえた進路指導の充実を図る。
	生徒指導	「豊かな人間関係を築き、地域社会人として考えて行動し、自らの夢に挑戦できる姿」の具現に向け、継続的な生徒指導を図る。

年 度 目 標					
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な具体的取組・方策	県教育振興基本計画での位置付け		達成度の判断・判断基準あるいは評価指標	
学校経営	①各方面の意見を集約しスクールミッションを策定する。	20	施策IV-20	①学校運営協議会での指導・意見集約 ②今年度新たな地域連携事業を実施できたか。 ③時間外勤務時間とストレスチェックの結果	
	②担い手の育成を目標とした地域連携の推進。	4	施策I-4		
	③時間外勤務の軽減と業務の精選。	27	施策IV-27		
学習指導	①授業参観の実施と事後研修の実施	8	施策II-8	①職員の参観率と生徒の評価は向上したか。(授業アンケート) ②速やかな情報提供ができたか。(学校評価アンケート) ③各種会議において検討をし、改善ができたか。	
	②HPの適宜更新と「すぐーる」の運用と研修	7	施策I-7		
	③生徒に還元できる適切な評価の研究と検討	26	施策IV-26		
進路指導	①田頃からの挨拶や言葉遣い、他者と交流を意識させ、人間関係の構築の重要性を意識させる。	1	施策I-1	①田頃の挨拶や言葉遣いが、しっかりできているかどうか。 ②1年：自分について考えさせ、自分に合った進路目標を持つことができたか。 ③2年：働く意義や職業について理解させ自分の適性を考えて進路目標を持たせることができたか。 ④3年：適性や学力など、様々な観点から判断し望ましい進路選択をさせることができたか。特に国立大の合格者を複数出せたか。	
	②1年：自己理解を深めさせ、自分に合った進路目標を描かせる機会を設定する。	13	施策II-13		
	③2年：働く意義や職業についての理解を深めさせ、具体的な進路目標を持たせる。	13	施策II-13		
	④3年：個々に応じた進路指導を充実させ、希望する進路の実現ができるようにする。特に、国立大受験者に対する指導体制づくりと早期指導。	13	施策II-13		
生徒指導	①いじめ・人権に反する行動を見逃さない。規範意識の向上と問題行動の未然防止に取り組む。	2	施策I-2	①いじめ認定0件、問題行動事案5件以下 ②生徒会、MSリーダーズを中心とした挨拶活動 ③フルメット着用率10%を目指す。 ④教育相談室、ホットプレイスの有効活用	
	②挨拶を中心とした生徒の自主的な活動。	1	施策I-1		
	③交通ルールの遵守を徹底させ、自転車等の安全運転を身につけさせる。	19	施策III-19		
	④教育相談を機能させ、生徒個人及び集団のよりよい学校生活を実現させる。(SC, S相の活用)	19	施策III-19		